

「医療タイムス」

2014年3月31日 No.2152

IMSグループ明芳会が葛飾区と民設民営病院で協定、総合病院開院へ

東京都板橋区などに拠点を置く医療・福祉グループIMSグループの医療法人明芳会(中村哲也理事長)は昨年8月、東京都葛飾区の旧松上小学校跡地に民設民営方式で病院を運営する事業を7事業者によるコンペで選定されていたが、この「(仮称)イムス葛飾中央総合病院」についての基本協定を区と締結する。新病院は2016年に300床以上で開設する予定。区との協定案では、開設時に回復期リハ系医療、一般急性期医療、開設後には認知症を含む医療機能が求められ、内・循・消外・心血・整形・泌・放・救急・リハ科の開設が求められている。都から認められた300床が満たされない場合は、明芳会が区内で運営している新葛飾病院(131床)を新病院に移転することも考えられている。

区はJR総武線新小岩駅に近接する西新小岩4-18-1の跡地(旧松上小学校跡地)の解体工事を終え、定期借地権に

よる有償貸付契約を行う。



イムス明芳会が民設民営で運営する葛飾区の新病院開設予定地(旧松上小学校跡)

葛飾区が明芳会を事業業者に選定したのは、IMSグループが東京、埼玉、群馬、千葉、神奈川、北海道、宮城、山形、ハワイなど病院34、介護老健施設17、診療所8、人間ドック・健診施設7の実績を評価した。

明芳会が活用できる敷地は旧松上小跡地と隣接する旧心身障害者福祉会館、上平井保育園、新小岩学び交流館、上平井児童遊園、児童会館の西新小岩学童保育クラブを合わせた1万6000m²の広大なものとなる。(医療施設建設情報センター)